

安 全 安 心

# 施策別 行政サービス成果表

視点	02 安全安心		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	03 安らぐ							
施策	17 生活習慣病の予防をはじめ、市民の健康づくりを推進します	コスト合計	906,715千円	945,765千円				1,852,480千円

## 【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
健康づくり推進事業	28,573千円	43,365千円	0千円	71,938千円	健康福祉部 健康づくり室
保健対策事業	111,237千円	34,692千円	0千円	145,929千円	健康福祉部 健康づくり室
予防事業	356,588千円	8,673千円	0千円	365,261千円	健康福祉部 健康づくり室
健康診査事業	213,464千円	90,663千円	0千円	304,127千円	健康福祉部 健康づくり室
特定健康診査実施事業	9,069千円	0千円	0千円	9,069千円	健康福祉部 健康づくり室
特定保健指導実施事業	2,913千円	0千円	0千円	2,913千円	健康福祉部 健康づくり室
後期高齢者健康診査実施事業	837千円	0千円	0千円	837千円	健康福祉部 健康づくり室
歯科保健推進事業	13,666千円	26,019千円	6,006千円	45,691千円	健康福祉部 健康づくり室

## 【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 健康づくりに意識的に取り組んでいる市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>健康づくりに意識的に取り組んでいる市民の割合</p>
	実績値の評価・分析	・新たに健幸マイレージやきんたくん健幸体操を実施し、運動のきっかけづくりを推進したが、昨年を下回る結果となった。		
	目標達成に向けた今後の課題	・健幸マイレージの拡充やきんたくん健幸体操の普及について、市民への周知啓発に取り組む。		
	担当課	健康福祉部 健康づくり室		

評価指標				傾向
2 定期的に歯の検診を受けている市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>定期的に歯の検診を受けている市民の割合</p>
	実績値の評価・分析	・若年層からの成人歯科検診(歯周病検診)の継続実施や8020運動の周知により、市民の歯や口腔衛生に対する意識の向上が図れた。		
	目標達成に向けた今後の課題	・今後も事業の継続・充実により目標値の達成をめざし取り組んでいく。		
	担当課	健康福祉部 健康づくり室		

評価指標				傾向
3 「食事をすることが楽しい」と思う市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>「食事をすることが楽しい」と思う市民の割合</p>
	実績値の評価・分析	・H23年度から市食育推進計画を策定し、食育に取り組んでいるところであるが、昨年を下回る結果となった。		
	目標達成に向けた今後の課題	・食育への関心を高めるよう、啓発等にさらに努めていく。		
	担当課	健康福祉部 健康づくり室		

施策別 行政サービス成果表

評価指標				傾向														
4 むし歯のない3歳児の割合	定義	方向性	3歳児健康診査でむし歯が確認されなかった子どもの割合	<p>虫歯のない3歳児の割合</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>基準値</td><td>85.6</td></tr> <tr><td>H25</td><td>86.1</td></tr> <tr><td>H26</td><td>86.7</td></tr> <tr><td>H27</td><td>-</td></tr> <tr><td>H28</td><td>-</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>87.0</td></tr> </table>	項目	値	基準値	85.6	H25	86.1	H26	86.7	H27	-	H28	-	目標値	87.0
	項目	値																
	基準値	85.6																
	H25	86.1																
H26	86.7																	
H27	-																	
H28	-																	
目標値	87.0																	
実績値の評価・分析		・妊婦の時から乳幼児の歯の大切さを啓発するとともに、歯のケアの指導等を行ったことで、割合の向上につながっている。																
目標達成に向けた今後の課題		・保護者への口腔ケアに関する知識の普及啓発が一定の効果あげたものと推測され、引き続き普及啓発に努めていく。																
担当課		健康福祉部 健康づくり室																

# 施策別 行政サービス成果表

視点	02 安全安心		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	03 安らぐ	コスト 合計						
施策	18 安心して医療が受けられる環境の整備に努めます		3,334,902千円	3,529,143千円				6,864,045千円

## 【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課	
	事業費	職員人件費	公債費	合計		
福祉医療管理事業	78,505千円	21,279千円	0千円	99,784千円	健康福祉部	医療助成・年金課
国民健康保険事業特別会計繰出金	1,432,219千円	0千円	0千円	1,432,219千円	健康福祉部	国民健康保険課
後期高齢者医療事業負担金	1,492,971千円	8,673千円	0千円	1,501,644千円	健康福祉部	医療助成・年金課
後期高齢者医療事業特別会計繰出金	363,091千円	0千円	0千円	363,091千円	健康福祉部	医療助成・年金課
後期高齢者健康診査助成事業	22,151千円	0千円	0千円	22,151千円	健康福祉部	医療助成・年金課
保健センター維持管理事業	16,850千円	0千円	294千円	17,144千円	健康福祉部	健康づくり室
応急診療所運営事業	15,774千円	0千円	0千円	15,774千円	健康福祉部	健康づくり室
救急医療対策事業	24,595千円	8,673千円	0千円	33,268千円	健康福祉部	健康づくり室
歯科診療事業	44,068千円	0千円	0千円	44,068千円	健康福祉部	健康づくり室

## 【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 市内の医療環境に満足している市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>市内の医療環境に満足している市民の割合</p>
	実績値の評価・分析		・通常時間帯の診療の外、小児救急や休日診療など通常時間外の医療の確保に努め、市民の満足割合が増加傾向にある。	
	目標達成に向けた今後の課題		・市民の安心、安全のため、医療の充実を図り、目標の達成をめざしたい。	
	担当課	健康福祉部 健康づくり室		

評価指標				傾向
2 かかりつけ医を持っている市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>かかりつけ医を持っている市民の割合</p>
	実績値の評価・分析		・身近な健康管理のため、かかりつけ医の重要性を啓発してきたが、割合は減少している。	
	目標達成に向けた今後の課題		・引き続き啓発等に努め、目標値の達成をめざしたい。	
	担当課	健康福祉部 健康づくり室		

# 施策別 行政サービス成果表

視点	02 安全安心		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	03 安らぐ							
施策	19 市立川西病院において良質な医療を提供するとともに、あり方を検討します	コスト合計	2,912,051千円	1,587,081千円				4,499,132千円

## 【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
病院事業会計支援事業	1,587,081千円	0千円	0千円	1,587,081千円	総合政策部 財政室

## 【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 患者満足度	定義	方向性	外来患者アンケートより	<p>患者満足度</p> <p>70% 65% 60% 55%</p> <p>59.9 62.9 61.4 65.0</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析		外来患者アンケートを実施した時期に外来患者数が増加し、診察の待ち時間が長くなったこと等による影響が出ていると考えられる。	
	目標達成に向けた今後の課題		外来患者の増加により、診察の待ち時間が長くなることとなるが、待ち時間の短縮はもとより、診察の進捗状況の明示・配信など、患者様の安心感を提供できるような取り組みを進めていきたい。	
	担当課		市立川西病院 経営企画課	

評価指標				傾向
2 経常収支比率	定義	方向性	$\frac{\text{経常収益(医業収益+医業外収益)}}{\text{経常費用(医業費用+医業外費用)}}$	<p>経常収支比率</p> <p>100% 98% 96% 94% 92% 90%</p> <p>91.7 90.7 92.3 100.0</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析		平成26年度は、地方公営企業会計基準の見直しの影響により、数値としては改善した。	
	目標達成に向けた今後の課題		医師・看護師等の人員確保ができ、病棟の再開ができた。今後は、患者の確保に取り組み医業収益の増に取り組む。	
	担当課		市立川西病院 経営企画課	

評価指標				傾向
3 病床利用率	定義	方向性	一日平均入院患者数÷許可病床数	<p>病床利用率</p> <p>90% 80% 70% 60% 50% 40%</p> <p>48.9 59.1 61.1 80.0</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析		泌尿器科、整形外科などの医師が着任し、入院患者が増え、病床利用率が向上した。	
	目標達成に向けた今後の課題		整形外科医師の増員による救急患者の受け入れなど、手術・入院を要する患者を受け入れる体制が整った事とあわせて患者の確保に努める。 ※指標値は許可病床数(250床)で積算。稼働病床数で積算すると76.7%	
	担当課		市立川西病院 経営企画課	

施策別 行政サービス成果表

評価指標				傾向										
4 職員給与費医療収益比率	定義	方向性	職員給与費÷医療収益	<p>職員給与費医療収益比率</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>基準値</td><td>74.7</td></tr> <tr><td>H25</td><td>75.5</td></tr> <tr><td>H26</td><td>73.8</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>65.0</td></tr> </table>	項目	値	基準値	74.7	H25	75.5	H26	73.8	目標値	65.0
	項目	値												
	基準値	74.7												
	H25	75.5												
H26	73.8													
目標値	65.0													
実績値の評価・分析		平成26年度からの、応援医師の件費の取り扱いを変更したことにより、指標の数値が改善した。												
目標達成に向けた今後の課題		医師・看護師等の現状の体制を維持しながら、医療収益の増収を図り、職員給与費医療収益比率の改善に取り組む。												
担当課		市立川西病院 経営企画課												

評価指標				傾向										
5 資金不足比率	定義	方向性	資金の不足額÷事業の規模	<p>資金不足比率</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>基準値</td><td>18.9</td></tr> <tr><td>H25</td><td>16.0</td></tr> <tr><td>H26</td><td>25.8</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>10.0</td></tr> </table>	項目	値	基準値	18.9	H25	16.0	H26	25.8	目標値	10.0
	項目	値												
	基準値	18.9												
	H25	16.0												
H26	25.8													
目標値	10.0													
実績値の評価・分析		平成26年度中に予定していた休床中病床の再開(35床分)が遅れたため、資金不足比率が拡大し、経営健全化基準20%を超えた。												
目標達成に向けた今後の課題		財政健全化法に定める経営健全化計画を策定し、経営健全化に向けて、休床中病床の再開(平成27年5月実施済み)などの収支改善に取り組むとともに、新たな長期貸付など市の支援を検討する。												
担当課		総合政策部 財政室												

## 施策別 行政サービス成果表

視点	02 安全安心		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	03 安らぐ	コスト 合計	313,073千円	610,072千円				923,145千円
施策	20 地域福祉活動の支援と促進を図ります							

### 【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
民生児童委員活動事業	26,709千円	0千円	0千円	26,709千円	健康福祉部 福祉政策課
地域福祉計画推進事業	2,767千円	8,673千円	0千円	11,440千円	健康福祉部 福祉政策課
地域福祉活動支援事業	193,807千円	38,625千円	2,748千円	235,180千円	健康福祉部 福祉政策課
災害援護資金管理事業	2,903千円	0千円	9,729千円	12,632千円	健康福祉部 福祉政策課
中国残留邦人支援事業	3,424千円	0千円	0千円	3,424千円	健康福祉部 福祉政策課
臨時福祉給付金給付事業	320,687千円	0千円	0千円	320,687千円	健康福祉部 福祉政策課
災害援護資金償還事業	9,729千円	0千円	0千円	9,729千円	健康福祉部 福祉政策課

(注)災害援護資金償還事業費については、公債費として災害援護資金管理事業に計上していることから、コスト合計には含めないものとする。

### 【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 「地域で高齢者や障がい者・児童等を見守り、支援する仕組みができてい る」と思う市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>「地域で高齢者や障がい者・児童等を見守り、支援する仕組みができてい る」と思う市民の割合</p> <p>60% 50% 40% 30% 20%</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の 評価・分析		川西市社会福祉協議会を通じ、概ね小学校ごとに地区福祉委員会を置いて、仕組みづくりを行っているが、減少傾向にある。	
	目標達成 に向けた 今後の課題		既に行われている見守りの仕組みに加え、新しい形の見守りや支援の仕組みづくりについて、検討していく。	
	担当課		健康福祉部 福祉政策課	

評価指標				傾向
2 福祉ボランティア活動に 参加したことがある市民 の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>福祉ボランティア活動に 参加したことがある市民の割合</p> <p>40% 35% 30% 25% 20% 15%</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の 評価・分析		ボランティア活動を安定的に支援するため、川西市社会福祉協議会に補助を行っているが、参加者は減少傾向にある。	
	目標達成 に向けた 今後の課題		より多くの人に地域福祉活動に参加してもらえ る方策の検討を行っていく必要がある。	
	担当課		健康福祉部 福祉政策課	

# 施策別 行政サービス成果表

視点	02 安全安心		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	03 安らぐ							
施策	21 高齢者に必要なサービスを提供するとともに、要介護状態を予防・改善します	コスト合計	1,816,968千円	1,856,175千円				3,673,143千円

## 【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課	
	事業費	職員人件費	公債費	合計		
外国人等高齢者特別給付金支給事業	2,270千円	0千円	0千円	2,270千円	健康福祉部	長寿・介護保険課
老人医療扶助事業	21,957千円	0千円	0千円	21,957千円	健康福祉部	医療助成・年金課
在宅高齢者支援事業	65,851千円	12,606千円	10,382千円	88,839千円	健康福祉部	長寿・介護保険課
施設入所介護事業	75,407千円	0千円	76,576千円	151,983千円	健康福祉部	長寿・介護保険課
老人福祉施設支援事業	4,208千円	0千円	0千円	4,208千円	健康福祉部	福祉政策課
介護保険事業特別会計繰出金	1,586,366千円	0千円	0千円	1,586,366千円	健康福祉部	長寿・介護保険課
介護保険低所得者対策事業	552千円	0千円	0千円	552千円	健康福祉部	長寿・介護保険課

## 【施策評価指標】

評価指標				傾向	
1 高齢者に占める要介護(支援)認定者の割合	定義	方向性	65歳以上の介護保険被保険者のうち、要介護(要支援)認定者の割合	<p>高齢者に占める要介護(支援)認定者の割合</p>	
	実績値の評価・分析		前年度から微増。このまま推移すれば目標値は下回る見込みである。		
	目標達成に向けた今後の課題		今後も、高齢社会の進展に伴う要介護(要支援)認定者数の増加が見込まれる。介護予防事業や啓発の充実を図ることで、認定率の上昇を抑えることができると見込まれる。		
	担当課		健康福祉部 長寿・介護保険課		

評価指標				傾向	
2 認定者に占める居宅介護(支援)サービス受給者の割合	定義	方向性	要介護(要支援)認定者のうち、居宅介護(支援)サービス受給者の割合	<p>認定者に占める居宅介護(支援)サービス受給者の割合</p>	
	実績値の評価・分析		前年度より上昇している。今後は、さらに伸び率を向上させ目標達成をめざす。		
	目標達成に向けた今後の課題		保険、医療、介護、福祉分野の連携強化に努め、受給者の重篤化を防ぐ。高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう居宅サービスの充実を図る。		
	担当課		健康福祉部 長寿・介護保険課		

評価指標				傾向	
3 認知症サポーターの人数	定義	方向性	認知症高齢者を見守り・支援する認知症サポーターの人数	<p>認知症サポーターの人数</p>	
	実績値の評価・分析		基準値より大幅に増加しており、小学生から高齢者まで、毎年多くの認知症サポーターが誕生している。H27年度中には目標値に達する見込みである。		
	目標達成に向けた今後の課題		認知症高齢者の方にもやさしいまちづくりの土台となる認知症の正しい理解と認知症の方への接し方について、さらに普及・啓発に努めていく。		
	担当課		健康福祉部 長寿・介護保険課		



# 施策別 行政サービス成果表

視点	02 安全安心		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	03 安らぐ	コスト 合計	239,802千円	209,912千円				449,714千円
施策	22 高齢者の生きがいづくりや社会参加を促進します							

## 【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
高齢者生きがいづくり推進事業	192,566千円	17,346千円	0千円	209,912千円	健康福祉部 長寿・介護保険課

## 【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 「高齢者が生きがいを持って生活できる」と思う市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>「高齢者が生きがいを持って生活できる」と思う市民の割合</p> <p>24.3 24.7 20.0 28.1</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析	基準値より下降した。		
	目標達成に向けた今後の課題	人と交流できる場を充実させるため、地区福祉委員会などが中心となってサロンを実施している。今後も、各地域において、介護カフェや認知症カフェの実施が検討されているため、これらの事業に多くの方に参加していただけるよう周知をはかっていく。		
	担当課	健康福祉部 長寿・介護保険課		

評価指標				傾向
2 シルバー人材センターの入会率	定義	方向性	60歳以上の高齢者のうち、就業機会を提供するシルバー人材センターへの入会の割合	<p>シルバー人材センターの入会率</p> <p>2.4 2.4 2.4 2.8</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析	会員数は増加しているが、60歳以上の高齢者数も増加しているため、入会率は横ばいに推移している。		
	目標達成に向けた今後の課題	川西市シルバー人材センターでは就業開拓員を雇用し、就業機会先を新たに確保することにより、入会者が増加するように努めている。目標達成に向けて、このような活動を実施していることを、今後広く周知していきたい。		
	担当課	健康福祉部 長寿・介護保険課		

評価指標				傾向
3 老人クラブの入会率	定義	方向性	60歳以上の高齢者のうち、多様な社会活動を展開する老人クラブへの入会の割合	<p>老人クラブの入会率</p> <p>9.3 8.8 8.6 9.5</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析	会員数が減少し、60歳以上の高齢者数も増加しているため、基準値より下降推移している。		
	目標達成に向けた今後の課題	老人クラブ以外に生きがいづくりや社会参加の場を持つ人も多いためと思われることから、会員数の増加は難しい部分もあるため新たな加入促進事業を検討していく必要がある。		
	担当課	健康福祉部 長寿・介護保険課		

# 施策別 行政サービス成果表

視点	02 安全安心		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	03 安らぐ	コスト 合計	2,719,568千円	2,845,135千円				5,564,703千円
施策	23 障がい者の自立した生活と社会参加を促進します							

## 【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
外国人等障害者特別給付金支給事業	2,403千円	0千円	0千円	2,403千円	健康福祉部 障害福祉課
障害者総合支援事業	1,999,231千円	52,038千円	22,520千円	2,073,789千円	健康福祉部 障害福祉課
障害者地域生活支援事業	425,244千円	34,692千円	0千円	459,936千円	健康福祉部 障害福祉課
障害者医療扶助事業	309,007千円	0千円	0千円	309,007千円	健康福祉部 医療助成・年金課

## 【施策評価指標】

評価指標				傾向
福祉施設入所者の地域生活移行者数 (延べ人数)	定義	方向性	長期的・常態的な福祉施設入所から地域での生活へ移行した障がい者の人数(※累計。自立訓練に係る入所は除く)	<p>福祉施設入所者の地域生活移行者数(延べ人数)</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析		・数値は上昇しているが、地域で生活するための福祉資源が限られているため、微増にとどまっている。	
	目標達成に向けた今後の課題		・福祉施設入所者が地域で生活するため、相談支援事業所と連携し日常生活上の支援を推進していく。 ・地域における居住の場を確保するため、グループホーム等の施設整備を促進する必要がある。	
	担当課		健康福祉部 障害福祉課	

評価指標				傾向
障がい者福祉施設からの一般就労者数	定義	方向性	障がい者福祉施設から一般就労した人数	<p>障がい者福祉施設からの一般就労者数</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析		・数値は横ばいとなっている。 ・目標値に達するために、就労支援を強化する必要がある。	
	目標達成に向けた今後の課題		・就労移行支援事業の利用促進に努める。 ・障がい児(者)地域生活・就業支援センター及びハローワークと連携し、一般就労に結びつくよう支援を行う。	
	担当課		健康福祉部 障害福祉課	

## 施策別 行政サービス成果表

視点	02 安全安心		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	03 安らぐ							
施策	24 生活保護受給者の経済的自立をはじめ、社会生活自立・日常生活自立を支援します	コスト合計	3,546,014千円	3,381,158千円				6,927,172千円

### 【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
生活支援事業	3,243,192千円	136,347千円	0千円	3,379,539千円	健康福祉部 生活支援室
住宅手当支給事業	1,619千円	0千円	0千円	1,619千円	健康福祉部 生活支援室

### 【施策評価指標】

評価指標				傾向														
1 就労支援により就労した人数	定義	方向性	就労支援活用による実稼働人数	<p>就労支援により就労した人数</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>数値</th></tr> <tr><td>基準値</td><td>94</td></tr> <tr><td>H25</td><td>95</td></tr> <tr><td>H26</td><td>110</td></tr> <tr><td>H27</td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td></td></tr> <tr><td>目標値</td><td>120</td></tr> </table>	項目	数値	基準値	94	H25	95	H26	110	H27		H28		目標値	120
	項目	数値																
	基準値	94																
	H25	95																
H26	110																	
H27																		
H28																		
目標値	120																	
実績値の評価・分析		就労支援員が現業員、ハローワークと連携し、対象者339人の内110人を就労に結びつけた。前年より就労人数が大幅に増加した。																
目標達成に向けた今後の課題		雇用情勢や高齢化の状況から被保護世帯は増加の一途をたどっている。保護からの自立助長をさらに促進するため、就労支援員、現業員、ハローワークが連携しさらなる自立助長の促進を図る。																
担当課		健康福祉部 生活支援室																

評価指標				傾向														
2 自立による生活保護世帯廃止件数	定義	方向性	実廃止世帯件数	<p>自立による生活保護世帯廃止件数</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>数値</th></tr> <tr><td>基準値</td><td>32</td></tr> <tr><td>H25</td><td>50</td></tr> <tr><td>H26</td><td>31</td></tr> <tr><td>H27</td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td></td></tr> <tr><td>目標値</td><td>40</td></tr> </table>	項目	数値	基準値	32	H25	50	H26	31	H27		H28		目標値	40
	項目	数値																
	基準値	32																
	H25	50																
H26	31																	
H27																		
H28																		
目標値	40																	
実績値の評価・分析		前年の50件から31件となり、目標値の40件を上回れなかった。実稼働人数は増加しているが、生活保護廃止までには至っていない。																
目標達成に向けた今後の課題		自立廃止に向け就労支援員が就労支援しているが、今後も厳しい状況が続くと予想される。就労支援員、現業員、ハローワークが連携し、効果的な就労支援を行い、自立による生活保護廃止を促進する。																
担当課		健康福祉部 生活支援室																

## 施策別 行政サービス成果表

視点	02 安全安心		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	04 備える							
施策	地域の防災力を高め、災害時に迅速に対応します	コスト合計	194,876千円	178,427千円				373,303千円

### 【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
自主防災組織支援事業	3,315千円	0千円	0千円	3,315千円	総務部 危機管理室
火災予防事業	1,035千円	78,057千円	0千円	79,092千円	消防本部 予防課
消防団活動推進事業	51,781千円	8,673千円	15,188千円	75,642千円	消防本部 総務課
消防団施設整備事業	20,378千円	0千円	0千円	20,378千円	消防本部 総務課

### 【施策評価指標】

評価指標				傾向
地震や火災などの災害 1 に対する備えができてい る市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>地震や火災などの災害に対する 備えができていない市民の割合</p>
	実績値の 評価・分析		数値は前年に比較してわずかに上昇している が、目標値とに大きな乖離がある。	
	目標達成 に向けた 今後の課題		震災に対する意識が薄れつつある中、今後、 南海トラフ巨大地震等の大災害が想定される ため、各地域における防災訓練等を支援し、防 災意識の向上を図っていく。	
	担当課		総務部 危機管理室	

# 施策別 行政サービス成果表

視点	02 安全安心		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	04 備える							
施策	行政の防災力を高め、災害時に迅速に対応します 26	コスト 合計	1,630,920千円	1,889,096千円				3,520,016千円

## 【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
国民保護事業	75千円	0千円	0千円	75千円	総務部 危機管理室
災害救助事業	370千円	0千円	0千円	370千円	健康福祉部 福祉政策課
急傾斜地対策事業	2,300千円	0千円	0千円	2,300千円	都市整備部 道路整備課
消防活動事業	333,634千円	773,409千円	103,350千円	1,210,393千円	消防本部 消防課
救急活動事業	14,595千円	329,574千円	0千円	344,169千円	消防本部 消防課
消防施設維持管理事業	196,265千円	8,673千円	4,282千円	209,220千円	消防本部 総務課
消防施設整備事業	1,267千円	8,673千円	1,140千円	11,080千円	消防本部 消防課
水防事業	4,802千円	12,606千円	1,067千円	18,475千円	総務部 危機管理室
災害対策事業	36,984千円	38,625千円	238千円	75,847千円	総務部 危機管理室
道路等災害復旧事業	17,167千円	0千円	0千円	17,167千円	都市整備部 道路管理課・道路整備課

## 【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 「災害に強いまちだ」と思う市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>「災害に強いまちだ」と思う市民の割合</p> <p>60% 40% 20% 0%</p> <p>27.2 24.7 25.3 32.0</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析		数値は上向きであるが、若干であるため、防災・減災に関係する訓練、広報等の内容を検討し、目標達成をめざす。	
	目標達成に向けた今後の課題		近年、全国各地で発生している自然災害に対して、市民が以前にも増して市の防災体制の強化を求めている。今後も、市民との協働による災害に強いまちづくりに努めていく。	
	担当課		総務部 危機管理室	

評価指標				傾向
2 火災現場への平均到着所要時間	定義	方向性	先着消防隊が現場到着までに要した時間	<p>火災現場への平均到着所要時間</p> <p>10分 8分 6分 4分 2分</p> <p>6.7 7.2 8.0 6.4</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析		実績値は前年比0.8分の増となったが、1件を除く他の火災における時間は7.3分となり、昨年より0.1分の増にとどまっている。	
	目標達成に向けた今後の課題		所要時間は現場の位置や通報内容の精度等により変動は見られるが、これを一つの指標としてとらえることに加え、取り扱った事例を振り返って再検証し、今後に反映させる。	
	担当課		消防本部 消防課	

施策別 行政サービス成果表

評価指標				傾向												
3 救急現場への平均到着所要時間	定義	方向性	救急隊が現場到着までに要した時間	<p>救急現場への平均到着所要時間</p> <table border="1"> <caption>救急現場への平均到着所要時間</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>所要時間 (分)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>5.8</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>6.1</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>5.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	所要時間 (分)	基準値	5.0	H25	5.8	H26	6.1	H28	5.0	目標値	5.0
	年度	所要時間 (分)														
	基準値	5.0														
	H25	5.8														
H26	6.1															
H28	5.0															
目標値	5.0															
実績値の評価・分析		実績値は前年比0.2分の増となった。その要因の一つとしては、総件数が増し、全4隊が出場したため、現場到着に時間を要したことが考えられる。														
目標達成に向けた今後の課題		通報内容の精度により現場の特定が困難なケース等、他にも検証改善すべき状況もあり得るため、これらの経験値を生かし、今後に反映させる。														
担当課		消防本部 消防課														

# 施策別 行政サービス成果表

視点	02 安全安心		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	04 備える	コスト 合計	45,380千円	44,174千円				89,554千円
施策	27 生活安全の向上を図ります							

## 【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
生活安全事業	3,797千円	8,673千円	0千円	12,470千円	市民生活部 生活相談課
自衛官募集事業	26千円	0千円	0千円	26千円	総務部 危機管理室
消費生活相談事業	11,894千円	8,673千円	0千円	20,567千円	市民生活部 生活相談課
消費者啓発事業	2,364千円	8,673千円	0千円	11,037千円	市民生活部 生活相談課
計量・表示適正化推進事業	74千円	0千円	0千円	74千円	市民生活部 生活相談課

## 【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 犯罪発生件数	定義	方向性	川西警察署管内の犯罪発生件数(暦年)	<p>犯罪発生件数</p> <p>1,900件 1,800件 1,700件 1,600件 1,500件 1,400件 1,300件</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析		川西市内における自転車盗の件数が大幅に減ったことが、犯罪発生件数減少の要因の一つと考える。	
	目標達成に向けた今後の課題		目標は達成しているが、引き続き「地域の安全は地域で守る」という考えのもと、川西警察、川西防犯協会等関連団体との連携や「川西市防犯カメラ設置事業補助金」などによる地域の自主的な防犯活動の支援といった安全確保に向けた取り組みを継続していく。	
	担当課		市民生活部 生活相談課	

評価指標				傾向
2 「消費者トラブルに遭わない心構えができている」と思う市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>「消費者トラブルに遭わない心構えができている」と思う市民の割合</p> <p>100% 95% 90% 85%</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析		基準値に比べ0.7ポイント低下したものの、出前講座等地道な啓発活動により高い水準で推移していると考えられる。	
	目標達成に向けた今後の課題		出前講座や広報誌の啓発記事等によって成果が出ていると思われるが、各年代の被害実情に応じた効果的な啓発活動を進めていく。	
	担当課		市民生活部 生活相談課	

評価指標				傾向
3 消費生活相談の解決率	定義	方向性	受け付けた消費生活相談のうち、助言・情報提供・斡旋等により解決した件数の割合	<p>消費生活相談の解決率</p> <p>100% 95% 90% 85% 80%</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析		消費者トラブルの内容が複雑化、高度化してきており、解決が難しい相談の増加が若干の解決率低下の一因と考える。	
	目標達成に向けた今後の課題		近年、消費者トラブルの内容が複雑化、高度化してきている。それらに対応し、解決するには相談員の専門的な知識や経験が不可欠であるので、各種研修に参加し、相談員のさらなる能力向上をめざす。	
	担当課		市民生活部 生活相談課	

# 施策別 行政サービス成果表

視点	02 安全安心		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	05 守る	コスト 合計	168,726千円	153,765千円				322,491千円
施策	28 豊かな自然環境を次世代へ継承します							

## 【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
環境創造事業	4,594千円	21,279千円	0千円	25,873千円	美化環境部 環境創造課
林業振興事業	381千円	0千円	0千円	381千円	市民生活部 産業振興課
緑化推進事業	11,725千円	8,673千円	0千円	20,398千円	都市整備部 公園緑地課
街路樹維持管理事業	52,945千円	17,346千円	0千円	70,291千円	都市整備部 公園緑地課
緑地維持管理事業	19,476千円	17,346千円	0千円	36,822千円	都市整備部 公園緑地課

## 【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 環境に配慮した行動を心がけている市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>環境に配慮した行動を心がけている市民の割合</p>
	実績値の評価・分析		前年度と比較して0.4ポイント下がったが、近年9割を超え高い値で推移している。	
	目標達成に向けた今後の課題		環境基本計画や生物多様性ふるさと川西戦略に基づき、市民、事業者などと協働で環境に配慮した行動を推し進める必要がある。	
	担当課		美化環境部 環境創造課	

評価指標				傾向
2 「緑が豊かなまちだ」と思う市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>「緑が豊かなまちだ」と思う市民の割合</p>
	実績値の評価・分析		・各種講習会やみどりのフェアを開催し、緑化の推進と啓発に努めた。	
	目標達成に向けた今後の課題		・緑化協会員が減少傾向にあり、積極的に緑化思想の普及を推進する。 ・緑地周辺の支障となる草木剪定、伐採、除草を継続して進めていく。	
	担当課		都市整備部 公園緑地課	



# 施策別 行政サービス成果表

視点	02 安全安心		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	05 守る	コスト 合計	432,847千円	341,330千円				774,177千円
施策	29 快適な生活環境を守ります							

## 【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課	
	事業費	職員人件費	公債費	合計		
環境衛生推進事業	17,553千円	42,558千円	0千円	60,111千円	美化環境部	美化推進課
犬の登録事業	3,687千円	3,933千円	0千円	7,620千円	美化環境部	美化推進課
斎場管理運営事業	86,142千円	29,952千円	799千円	116,893千円	美化環境部	美化推進課
環境監視事業	4,186千円	3,933千円	0千円	8,119千円	美化環境部	環境創造課
市民トイレ管理事業	7,096千円	0千円	0千円	7,096千円	美化環境部	美化推進課
し尿収集事業	94,979千円	0千円	0千円	94,979千円	美化環境部	美化推進課
阪神高速道路周辺環境監視事業	3,576千円	0千円	0千円	3,576千円	都市整備部	道路整備課
騒音環境対策事業	6,484千円	8,673千円	0千円	15,157千円	都市整備部	空港対策課
共同利用施設管理運営事業	27,779千円	0千円	0千円	27,779千円	都市整備部	空港対策課

## 【施策評価指標】

評価指標				傾向															
1 自動車排出ガス(二酸化窒素)濃度	定義	方向性	加茂大気測定局における二酸化窒素の日平均値の年間98%値	↘	<p>自動車排出ガス(二酸化窒素)濃度</p> <table border="1"> <tr><th>年</th><td>基準値</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>目標値</td></tr> <tr><th>濃度 (ppm)</th><td>0.036</td><td>0.033</td><td>0.036</td><td></td><td>0.040</td><td>0.040</td></tr> </table>	年	基準値	H25	H26	H27	H28	目標値	濃度 (ppm)	0.036	0.033	0.036		0.040	0.040
	年	基準値	H25	H26		H27	H28	目標値											
	濃度 (ppm)	0.036	0.033	0.036			0.040	0.040											
	実績値の評価・分析		若干の改善傾向となっている。																
目標達成に向けた今後の課題		目標値を達成しているが、引き続き定期的な監視を行う。																	
担当課			美化環境部 環境創造課																

評価指標				傾向															
2 猪名川水系における水質測定値(BOD値)	定義	方向性	多田浄水場における生物化学的酸素要求量(BOD)の年間75%値	→	<p>猪名川水系における水質測定値(BOD値)</p> <table border="1"> <tr><th>年</th><td>基準値</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>目標値</td></tr> <tr><th>濃度 (mg/l)</th><td>0.6</td><td>1.2</td><td>1.4</td><td></td><td>1.0</td><td>1.0</td></tr> </table>	年	基準値	H25	H26	H27	H28	目標値	濃度 (mg/l)	0.6	1.2	1.4		1.0	1.0
	年	基準値	H25	H26		H27	H28	目標値											
	濃度 (mg/l)	0.6	1.2	1.4			1.0	1.0											
	実績値の評価・分析		増加傾向にあるが、環境基準を下回っている。																
目標達成に向けた今後の課題		目標値を環境基準の1/2に設定しているため、目標値を超えているが、今後とも定期的な監視を続け、猪名川の水質動向を注視し、目標値以下の達成に努める。																	
担当課			美化環境部 環境創造課																

評価指標				傾向															
3 Lden(時間帯補正等価騒音レベル)	定義	方向性	航空機騒音に係る環境基準値(I類型)	↘	<p>Lden(時間帯補正等価騒音レベル)</p> <table border="1"> <tr><th>年</th><td>基準値</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>目標値</td></tr> <tr><th>レベル (Lden)</th><td>60.9</td><td>61.9</td><td>61.2</td><td></td><td>57.0</td><td>57.0</td></tr> </table>	年	基準値	H25	H26	H27	H28	目標値	レベル (Lden)	60.9	61.9	61.2		57.0	57.0
	年	基準値	H25	H26		H27	H28	目標値											
	レベル (Lden)	60.9	61.9	61.2			57.0	57.0											
	実績値の評価・分析		騒音値は、飛行経路の改善等により緩やかに減少している。																
目標達成に向けた今後の課題		低騒音機の導入推進や飛行経路の改善等を要望し、環境基準の達成に努める。																	
担当課			都市整備部 空港対策課																

# 施策別 行政サービス成果表

視点	02 安全安心		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	05 守る	コスト 合計	3,259,377千円	3,220,640千円				6,480,017千円
施策	30 循環型社会の形成を促進します							

## 【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課	
	事業費	職員人件費	公債費	合計		
ごみ減量化とリサイクル推進事業	28,862千円	26,019千円	0千円	54,881千円	美化環境部	美化推進課
広域ごみ処理施設管理運営事業	1,738,103千円	112,749千円	35,258千円	1,886,110千円	美化環境部	美化推進課
最終処分対策事業	92千円	0千円	2,802千円	2,894千円	美化環境部	美化推進課
分別収集事業	622,517千円	637,767千円	3,967千円	1,264,251千円	美化環境部	美化推進課
市道等不法投棄処理事業	3,831千円	8,673千円	0千円	12,504千円	都市整備部	道路管理課

## 【施策評価指標】

評価指標				傾向	
1 「歩道や道路がきれい だ」と思う市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>「歩道や道路がきれいだ」と思う市民の割合</p>	
	実績値の 評価・分析		部分的な修繕跡が既存部との一体感に欠け「視覚的要素」の低下を招いている。ポイ捨てゴミなども要因と思考する。		
	目標達成 に向けた 今後の課題		対応範囲の増大による箇所当り維持修繕費の投入額により、視覚的要素より機能的効果を重視する方向性の転換は難しい。よって、路上ゴミの排除やポイ捨てなどの二次的要因の防止啓発を強化し、視覚的な美観を保つ。		
	担当課		都市整備部 道路管理課		

評価指標				傾向	
2 ごみ収集・処分に対する 満足度	定義	方向性	市民実感調査より	<p>ごみ収集・処分に対する満足度</p>	
	実績値の 評価・分析		平成21年度から新しい分別収集方法になり6年が経過し、市民の皆様にご理解をいただいたと考える。今後も目標値の達成に向け努力を続ける。		
	目標達成 に向けた 今後の課題		分別収集について今後も周知徹底していく。		
	担当課		美化環境部 美化推進課		

評価指標				傾向	
3 一人一日あたりのごみ排 出量	定義	方向性	総ごみ排出量÷365日÷年度末人口	<p>一人一日あたりのごみ排出量</p>	
	実績値の 評価・分析		啓発活動等によりごみの減量や分別に対する市民の意識も高まり、排出量は前年度より減少した。		
	目標達成 に向けた 今後の課題		今後も一般廃棄物処理基本計画に基づき、更なるごみ減量施策を推進し、目標の達成に図る。		
	担当課		美化環境部 美化推進課		

施策別 行政サービス成果表

評価指標				傾向												
4 一人一日あたりの可燃ごみ排出量	定義	方向性	可燃ごみ排出量÷365日÷年度末人口	<p>一人一日あたりの可燃ごみ排出量</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>基準値</td><td>641</td></tr> <tr><td>H25</td><td>643</td></tr> <tr><td>H26</td><td>641</td></tr> <tr><td>H28</td><td>589</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>589</td></tr> </table>	項目	値	基準値	641	H25	643	H26	641	H28	589	目標値	589
	項目	値														
	基準値	641														
	H25	643														
H26	641															
H28	589															
目標値	589															
実績値の評価・分析		基準値に比べほぼ横ばいである。														
目標達成に向けた今後の課題		燃やすごみに混入される資源物の分別や水切りなど、ごみ減量の啓発に努め、目標値達成を図る。														
担当課		美化環境部 美化推進課														

評価指標				傾向												
5 ごみのリサイクル率	定義	方向性	資源化量÷総ごみ排出量	<p>ごみのリサイクル率</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>基準値</td><td>24.5</td></tr> <tr><td>H25</td><td>23.4</td></tr> <tr><td>H26</td><td>23.1</td></tr> <tr><td>H28</td><td>26.7</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>26.7</td></tr> </table>	項目	値	基準値	24.5	H25	23.4	H26	23.1	H28	26.7	目標値	26.7
	項目	値														
	基準値	24.5														
	H25	23.4														
H26	23.1															
H28	26.7															
目標値	26.7															
実績値の評価・分析		基準値に比べ減少した。														
目標達成に向けた今後の課題		集団回収においても回収率が減っているため、今後は燃やすごみに含まれる資源物の分別促進を図り、リサイクル率の向上をめざす。														
担当課		美化環境部 美化推進課														